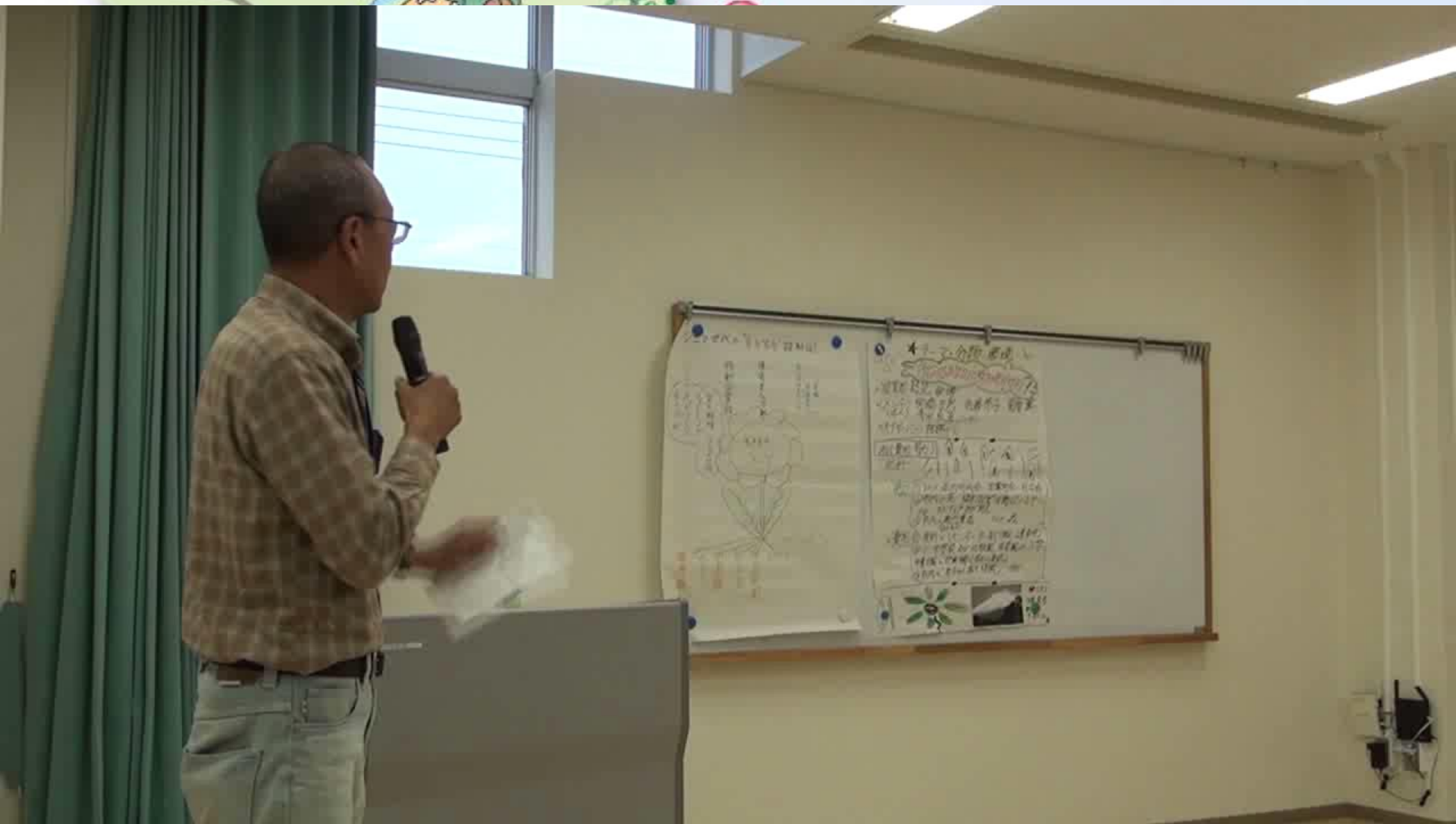


# 城址公園地域の河津さくら植樹による コミュニティづくり

もりや市民大学コミュニティづくりコース有志他

裕元 敏博 清水 宏真 佐藤 洋子 菊原 薫  
亘理 達 赤井 紀子 山澤 成實 飯島 安廣  
高橋 真美 石川 秀夫 宮崎 潤一 古橋 俊夫

# プロローグ



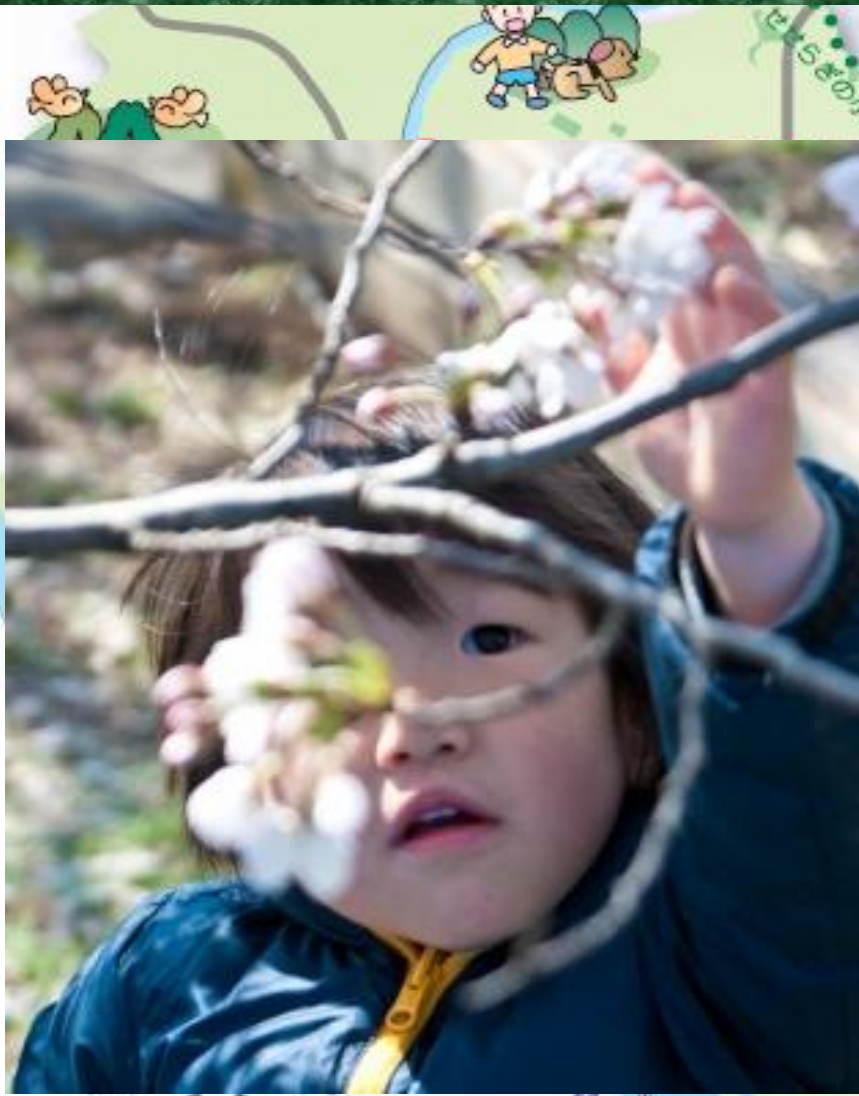
もりや市民大学\_コミュニティづくりコース  
守谷の課題を考えるワークショップ\_環境チームの発表風景ピックアップ

# 夢1...西のあやめ、東のさくら



守谷東地区に市民が憩いの場として楽しめる公園づくり

# 夢2...子供や孫につなぐ公園







# 計画内容・・・夢を実現するために

年度	
26年度	<p>①河津さくら植樹による憩いの場作り事業実施のための 調査・研究</p> <ul style="list-style-type: none"><li>－実施に当たっての市計画との整合性確保の検討</li><li>市民参加型公園設計の検討</li><li>植栽地域の選定</li><li>維持管理方法の検討</li><li>－先進事例の調査</li><li>－専門家のアドバイスを得る</li><li>－里親制度導入の検討・・・→(里親募集)</li></ul> <p>②運営組織(仮称:さくらプロジェクト)の構築</p> <ul style="list-style-type: none"><li>－周辺自治会・町内会、城址公園関連団体や市メンバー</li></ul> <p>③平成27年度以降の事業計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"><li>－市と予算案の協議</li><li>－市と市民の役割分担の決定</li></ul>
27年度以降	26年度の調査研究の成果を基に市と協働で実施

# 背景



守谷市の東地区には、四季の里公園のアヤメのような花あるいは樹木で特徴付けられた公園がない。つまり、花や樹木を愛でて、心を豊かにするような憩いの場がない。



守谷市においては、公園作りは市の役割とされ、市民参加型の公園作りは行なわれていない。公園作りを市民参加型で行なうことで、町内会・自治会や地域福祉活動の絆作りに役に立つのではないか。

# 先進事例



# やる気十分です……ひがし野地区での根回し開始

- ◆H26年2月ひがし野町内会役員会で説明
- ◆H26年3月ハッピーひがし野発行パンフレットで説明(全戸配布)
  - ✓「話題」という表現にして、トーンを抑えた。
  - ✓ 市民提案型協働事業とすべく市と協議中。
  - ✓ 平成26年度は計画の調査・研究。
- ◆H26年4月ひがし野町内会総会で説明
- ◆今後の進捗に応じて、説明を行い、コンセンサス作りを図る。

## 課題と対応

- ◆ ひがし野地区でも「城址公園」の認知度にはばらつきがある。
  - ◆ プロムナード水路の線量が高いため、城址公園に子供を行かせない家庭もある。
  - ◆ 桜の木は落ち葉や毛虫の問題で嫌う人もいる。
- ⇒長期にわたる活動なので、拙速を避け、地道に計画と立上げを行う必要がある。
- ⇒その中で、近隣住民への説明を積み上げて理解度を高め、積極的な参加が得られるようにする必要がある。

# やる気十分です。

## [ハッピーひがし野発行パンフレット記事]

### 城址公園の桜の話題

守谷城址公園の遊水地周辺には、造成の際に植えた桜が数十本ありますが、桜の公園という雰囲気にはまだなっていません。そこで守谷市民大学でコミュニティづくりを学んだ皆さんが中心になり、桜（案：河津ざくら）をもっと密に植えて、10年～20年後には桜の名所のしようという提案が出ました。

市民提案型協働事業とすべく市と協議中です。

平成26年度は、計画の調査・研究を行い、本格的には平成27年度からの植栽活動になると予想しています。

3月には上記メンバの声掛けで、市役所の職員にも加わっていただき、既に育っている桜の木に巻き付いているクズ（蔦）の除去を行いました。



# 最後に・・・提案実現の条件



市民と市の協働が不可欠



まずは市が  
「市民参加型の公園づくり」の意志決定



## [ハッピーひがし野発行パンフレット記事]

### 城址公園の桜の話題

守谷城址公園の遊水地周辺には、造成の際に植えた桜が数十本ありますが、桜の公園という雰囲気にはまだなっていません。そこで守谷市民大学でコミュニティづくりを学んだ皆さんが中心になり、桜（案：河津ざくら）をもっと密に植えて、10年～20年後には桜の名所のしようという提案が出ました。

市民提案型協働事業とすべく市と協議中です。

平成26年度は、計画の調査・研究を行い、本格的には平成27年度からの植栽活動になると予想しています。

3月には上記メンバの声掛けで、市役所の職員にも加わっていただき、既に育っている桜の木に巻き付いているクズ（蔦）の除去を行いました。

